

秋の褒章

藍綬褒章

佐藤龍子（北金浦2区）
にかほ市明るい選挙推進協議会副会長を長年務め、投票率の向上、選挙を明るくする運動に尽力されたことが評価され授与されました。



各種表彰等

全国防犯功労者

防犯荣誉銅賞

多田實（下荒屋）

秋田県地方自治功労

渋谷正敏（上浜の町）

令和2年交通指導隊表彰（勤続者表彰）

▶永年（20年以上）／佐藤正男（石田）▶12年以上／齋藤ウメ子（浜畑）▶7年以上／佐藤米三（湯見町2区）

令和2年度秋田県身体障害者自立更生等表彰

▶秋田県知事表彰（団体育成功労者）／佐々木傳作（湯見町1区）▶秋田県身体障害者福祉協会会長



仁賀保中学校サッカー部

表彰（自立更生功労者）
／須藤アサ子（大須郷）

令和2年度中学生の「税の作文」

▶仙台国税局長賞／「税は私たちの「安心」につながる」石垣陽菜（象潟中）▶本荘税務署長賞／「今の日常」渡部桐子（金浦中）▶にかほ市長賞／「税金の必要性」渡辺苺（象潟中）／▶にかほ市教育委員会教育長賞／「身近な税の大切さ」荒生みらい（象潟中）／「税金の使い道と大切さ」佐藤風歌（象潟中）

5歳児健診でむし歯のなかったおともだち

小西真央（平沢）／齋藤咲希（平沢）／小助川紫貴（室沢）／佐藤柚希（室沢）／佐藤悠陽（琴浦）／鈴木皓太（両前寺）／畠山杏（室沢）／佐々木雅（小国）／佐藤華（伊勢居地）／佐藤慶（花潟区）／越川雄心（北金浦2区）／齊藤萩花（北金浦2区）／佐々木笑那（中橋町）／藤澤凜（栄町）／カナルサヤカ（立石1区）

※電子アプリ「カタボケ」でイラストをタップすると、上記お友だちの写真を確認することができます。

各種大会結果

第63回秋田県中学校秋季新人サッカー大会

①仁賀保中学校

「非接触赤外線体温計」寄贈

10月19日、teamともしび（代表・木賊薫）から市に「非接触赤外線体温計」2個が寄贈されました。これは、ともしび野球教室に向け準備していたのですが、コロナ禍で中止となり、ほかの場面で役立ててほしいと市役所を訪れた鈴木仁氏から本田副市長に手渡されました。



▲鈴木氏(写真:右)と本田副市長

にかほ市「若者応援!モノづくり人づくり講演会」

10月30日、仁賀保高校でにかほ市「若者応援!モノづくり人づくり講演会」が行われました。講師を務めたトヨタ自動車(株)執行役員河合満氏は、「生産現場の自動化を進化させるのはあくまでも人である」と話し、参加者らは未来に残す技能について考えを深めている様子でした。



▲講師を務めた河合氏

中学生と管内企業のふれあいPR事業

10月14日、23日、30日の3日間にわたり、市内中学校で「中学生と管内企業のふれあいPR事業」が行われました。地元企業延べ16社がブースを設けて自社の仕事の内容や働きがいを紹介。熱心にメモを取りながら質問する生徒たちと笑顔で応える担当者の姿が見られました。



▲興味津々の金浦中生徒

オリジナルフレーム切手贈呈

10月30日、日本郵便東北支社よりオリジナルフレーム切手第2集が贈呈されました。これは、本市出身の木版画家池田修三氏の作品を題材として作製されたもので、象潟郷土資料館、白瀬南極探検隊記念館、仁賀保勤労青少年ホームで限定販売しています。



▲切手を渡す岩城郵便局長

住人十色 一人ひとりの文化がある にかほ市民文化祭2020オンラインライブ

10月31日と11月1日の2日間にわたりにかほ市民文化祭2020音楽祭・芸能祭が開催され、You tube(全世界公開)で生配信されました。発表会場は無観客でしたが、市内各公民館とオンラインでつないだサテライト観覧会場では、相互通信が行われ、会場は異なっても演者と観客が一体となり、臨場感溢れるステージ発表となりました。

仁賀保高校情報メディア科が全面協力

発表会場、サテライト観覧会場では、同校情報メディア科生徒の技術支援により、オンライン配信、相互通信の設定、操作を行い当文化祭を支えました。



▲2日間にかけて行われたステージ部門の音楽祭と芸能祭。演者、観客ともに芸術の秋を楽しみました

100歳長寿おめでとうございます 長寿祝状・祝金贈呈式

11月10日、佐藤チヨミさん（中三地）が100歳のお誕生日を迎え、市から祝状と祝金が贈呈されました。この日は施設の職員が見守るなか、長男ご夫婦とお孫さんがお祝いに駆け付け花束が贈られました。自然体でも気丈に生きてきたチヨミさん、今は甘いスイーツが好きでなかでもプリンが大好き！これからも末永く元気で過ごしてください。



▲長男ご夫婦と一緒に記念撮影を行いました

「子育てのスキル」を高める取り組み 子育て支援に関する連携協定締結式

11月27日、スマイルで学校法人聖園学園短期大学との子育て支援に関する連携協定締結式が行われました。これは、子育てしやすいまちの実現に取り組んでいる本市と、質の高い保育者の育成を目指す同校が相互に連携し、子どもの未来を育む養育環境の充実に寄与することを目的に締結されたもので、今後、両者はさまざまな取り組みを行っていきます。



▲握手を交す門戸学長(写真:右)と市川市長

電子アプリ「カタボケ」で写真を見ることができ、動画を視聴することもできます。